

## 山際氏 新たな接点

山際大志郎経済再生担当相は二十一日の閣議後の記者会見で、旧統一教会トップの韓鶴子総裁と二〇一九年に愛知県内で集合写真を撮影したと明らかにした。写真がインターネット上に出回っており、記者団からの指摘で認めた。「覚えておらず事務所に資料がない」として、「これまで公表していないかった」。

撮影当日は、来日していた米国の議会関係者と意見交換するため愛知県内を訪れていたという。「意見交換終了後に誘いを受けて、集合写真を撮影したのではないかと考えている」と話した。

ただ、韓氏と会った記憶を問われると「ちょっとおもつかった」とおもつかった」と答えた。

### 19年 愛知で教団トップと写真

撮影当日は、来日していた米国の議会関係者と意見交換するため愛知県内を訪れていたという。「意見交換終了後に誘いを受けて、集合写真を撮影したのではないかと考えている」と話した。

山際氏を巡っては、会合出席など教団側との接点が次々に明らかになっていく。韓氏とは一八年に面接したことも既に判明している。十八日の衆院予算委員会では「これから新しい事実が出てくる可能性がある。その都度、しっかりと説明責任を果たす」と述べていた。

ぼつかないと答えた。また撮影と同じ日に教団側が会議を開いたとみられると自ら言及した上で「私は出席していない」と述べた。松野博一官房長官は二十一日の会見で山際氏への対応を問われ、「新たな接点が判明した閣僚は説明を要していることが重要だ」と語った。

### 自民が行動指針改定案

自民党は21日、党改革実行本部（本部長・茂木敏充幹事長）の総会を党本部で開いた。旧統一教会との関係を断つ方針に基づき、党所属国会議員は社会的問題が懸念される団体から政治的な影響を受け、活動を助長させるような行動の自粛を求める党行動指針の改定案を取りまとめた。25日の総務会で正式決定する方針だ。

総会で茂木氏は「党の方針をより明確な形で盛り込んだ。地方組織にも周知し、順守を徹底したい」と語った。

### 「関係を断つ」文言なし

改定案は、党行動指針に「組織・団体との責任ある関係の確保」との項目を新設した。所属国会議員に対して「活動の社会的相当性が懸念される組織・団体からの不当な政治的影響力を受け、その活動を助長すると誤解されるような行動を厳に慎む」と明記した。

旧統一教会の関連団体を念頭に「党本部は国会議員からの照会に対応する体制を整備する」とも盛り込んだ。ただ岸田文雄首相（党総裁）が国会答弁などで繰り返した「関係を断つ」との文言は用いておらず、表現が曖昧との指摘を受ける可能性もある。